

*家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
 *審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。
 *循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

県婦連ふくおか

第 51 号

発行 福岡県地域婦人会連絡協議会
 〒812-0046
 福岡市博多区吉塚本町13-50
 発行責任者 木下 幸子
 TEL 092-643-1440

『令和を生きる』

福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子



いよいよ新しい元号「令和」の幕開けとなりました。会員の皆様は、どのような思いで新たな元号を迎えられたでしょうか。

私は、本年2月に第70回結核予防全国大会に参加しました。そこで天皇皇后両陛下と間近でご挨拶する機会を得ました。とても柔和な笑顔でいままでも背負われていた重たいものを少しずつおろしていかれているのではと感じました。また、美智子妃殿下の天皇陛下への細やかな心遣いが全てにわたっているのにも心を打たれました。その印象そのままの、優しさにあふれた元号であるように感じられました。

結核予防会総裁の秋篠宮紀子様が私どもで製作したシールぼうやとシールちゃんのリボンパジャを大変気に入られ、オランダまでお持ちいただきオランダ結核予防会の事務局長にお渡しいただいたとお話が全国結核予防婦人会だよりNo.125号に掲載されています。実はこのことは、宮内庁を通じて紀子様からご連絡をいただいております。

しかし、私が本当に感銘を受けましたのは、お二方の行動力です。お二方も今の大変な立場のなかでしっかりと自らをもって行動されている。素晴らしいことだと思います。「置かれた場所で咲きなさい」と言われます。私たちが現在の活動を更に充実させしっかりと続けていきたいと思います。

婦人会は「福岡県都市婦人会連絡協議会」として昭和22年2月に結成され、本年で72年を迎えました。結成時は、初代君島実生代会長宅に事務局をおいたと聞きます。昭和25年、住吉に婦人会館を開設、昭和42年に博多駅前4丁目目2代目の婦人会館を建設移転し、老朽化に伴い、平成5年4月に現在の吉塚合同庁舎内に移転し活動を続けていますが、これも会員の皆さまの熱意によるものです。

令和元年11月に九州地区地域婦人大会をホテルオークラ福岡で開催します。会員皆様のご協力をお願いいたします。そしてこの大会を皆さまで楽しみたい婦人会の歴史のページを刻み、今後の活動の糧にしましょう。皆様が心身共に健康で、毎日楽しく暮らすことが大事です。今年度も元気に楽しく頑張っていきたいと思います。

県知事・教育長表敬訪問



毎年5月3日〜4日に開催される「博多どんたく」に参加

例年にもなく、欠々にピンクのジャンパーもまはゆい程の五月晴れの中、福岡県地域婦人会連絡協議会はパレードに170人を超える会員と大曲副知事、人づくり県民生活部長さんも参加していただきました。昨年の紹介では平均年齢75歳でしたが今年は18歳の心意気と紹介され、少し気分を良くした次第です。沿道の見物の人達から拍手を頂きながら、今年はどうぞと囃子の曲で踊りました。お疲れ様でした。



九州豪雨 シールで復興を支援

日赤県支部に15万円寄付致しました。道の駅うきはのお客様、県婦連の会長さん、地区の会員さん方、大変ご協力を頂きましてありがとうございます。(うきは市女性連絡協議会)



平成30年度北方領土返還促進県民集会

日時 平成31年2月8日
 場所 リーガロイヤルホテル小倉

今年も県民集会が開催されました。今年こそは良い報告がされるのではないかと期待しながらも戦後70年以上が過ぎ、元島民の方々の高齢化が進む中若い世代の方々の関心が薄れる事が気になります。政府は北方領土の問題を解決して日露平和条約を締結するという基本方針で外交交渉を進めていますが、ロシアの不法占領下にあつて、お互いの立場の相違で前進しません。講師の元NHK解説委員の山内聡彦先生の話によれば安倍総理の在籍中に解決なくして進展はないと考えられると返報告され期待を待つほかない様です。

私達は若い世代に正しく理解と関心を持って伝えていく様努力せねばなりません。一日も早い解決を願ひ我が国固有の領土を世界中に認めたいと思ひます。(田中)



お知らせ

全国各地婦人団体研究大会

期 日 令和元年10月1日(火)〜2日(水)
 開催地 青森県

九州地区地域婦人大会

期 日 令和元年11月7日(木)〜8日(金)
 開催地 福岡県

大会テーマ

「いのちをまもり、くらしをまもり、ちいさをまもる婦人会」

今年、ホテルオークラ福岡で開催されます。県内外の方々に楽しんで頂きながら、盛会裡に終えることができますように皆さまのご協力をお願い致します。

第50回九州地区結核予防婦人団体幹部講習会

日時 平成30年11月14日・15日
場所 ホテルメルパルク熊本

子どもの結核ゼロから結核終息へ～BCG接種、結核の現状と課題～
結核撲滅を目指してなど、肺の生活習慣病COPDと呼吸リハビリテーションについてのお話がありました。COPDの定義や呼吸リハビリテーション、また統合ケアとは何かなどを詳しく説明されました。息切れが生じる動作に対する対処法として①口すばめ呼吸②腹式呼吸③横隔膜呼吸法などを教えて頂き、運動は真の万能薬だとお話しされました。



健康で過ごすためのすばらしい学習ができました。
(横溝)

第70回九州地区地域婦人大会

日時 平成30年12月12日・13日
場所 宮崎観光ホテル



昔は、新婚旅行のメッカと言われた宮崎！なつかしいフェニックススハネムーンの曲で出迎えて頂きました。
「人に寄り添い、地域を支える婦人会活動」を輪(WA)和(WA)笑(WA)をテーマに約700名の参加で開催されました。

記念講演は「生命のすばらしさ」という演題で宮崎大学学長の池ノ上克氏の楽しいお話しを聞きました。昭和51年1月31日、鹿児島市立病院で日本初の五つ子をとりあげられた「五つ子プロジェクト」の先生の一人です。

私は第四分科会「環境問題と食品ロス削減」について参加しましたが、平成24年にユネスコエコパークに登録された綾町の町全体で取り組むエコ活動の

素晴らしい話に感動しました。行政も昭和46年から残飯回収処理として毎日収集、生ゴミの中にEM活性液を使ったボカシを入れて回収肥料として再利用されています。
食品ロス問題では、グループ討議でたくさん意見交換がなされました。
手作り感溢れる宮崎大会は、とても有意義なものでした。
(小田)



第23回結核予防関係婦人団体中央講習会

日時 平成31年2月4日・5日

場所 リーガロイヤルホテル東京

今年も結核予防会総裁秋篠宮妃殿下の御臨席のもと北海道から沖縄まで全国各婦人団体90名出席の結核対策の講習会がありました。

全国結核予防婦人団体連絡協議会会長木下幸子会長のご挨拶に始まり紀子妃殿下のお言葉を戴き「自分の健康は自分で作る」のテーマをもとに講演があり「あなたにあった医療を提供する」中村祐輔先生の最新医療の講演はとてもユニークなお話しでぐっと引き込まれました。

2日目はたばこ病(COPD)について

第4回消費者団体等との意見交換会

日時 平成31年2月15日

場所 九州農政局

○アクリルアミドを減らすために家庭でできること
アクリルアミドは2002年に発見され、私たちが日常食べているいろいろな食品に含まれているアミノ酸のひとつで120℃以上の熱が加わることで食材に含まれる水分が少なくなつてから生成される。揚げる、焼く、炒めるなどの調理方法で増えるが煮る、蒸す、茹でるなどの水を利用した調理ではほとんどできない。大量にアクリルアミドを吸収してしまうと神経障害(筋力低下、歩行障害など)が起きることは確認されているが発ガンとの関連については更なる検証が必要となる。

アクリルアミドは幅広い加工食品に含まれているので食品からの摂取をせ

○じゃがいもの天然毒素について
ソランニンやチャコニンが主成分であり、皮に近い部分に多い。

食中毒を防ぐには

- ・イモを光にあてない
- ・イモは大きく育てて熟成してから収穫
- ・収穫時、保管時に傷つけない
- ・芽が出ているものは、まわりの部分も取り除く(みどり色の部分も)
- ・皮はできるだけむく
- ・苦みやえぐみがあるイモは食べない

(小田)

第70回結核予防全国大会

日時 平成31年2月27日・28日

場所 ホテル椿山荘東京

「結核の予防と支援、立場の違いを超えて」をテーマに研鑽集が行われ、基調講演として世界から見た日本の結核対策のお話がありました。

2日目は、天皇陛下、美智子皇后、紀子様御臨席の下に80周年記念大会、70回結核予防式典が開催されました。平成最後の御臨席かと思うと感無量のひと時でした。
(北村)



令和元年度 新役員紹介

福岡県婦連会長 木下 幸子
(中間市婦人会)

副会長(教育) 池田 穂波
(那珂川市婦人会)

筑豊地区《くらし部会》
書記 古場 弘子
(遠賀郡遠賀町婦人会)

地区代表 安河内 浩子
(嘉穂郡桂川町婦人会)

委員 吉田 春枝
(遠賀郡岡垣町婦人会)

委員 井上 節子
(飯塚市婦人会)

委員 峯岡 準子
(鞍手郡小竹町婦人会)

委員 石橋 重子
(遠賀郡水巻町婦人会)

委員 田中 妙子
(田川郡添田町婦人会)

委員 野上 君子
(庄内女性の会)

福岡地区《教育部会》
地区代表 小田 晴美
(春日市婦人会)

委員 萩尾 房子
(筑紫野市地域婦人会連絡協議会)

委員 吉留 節子
(糟屋郡宇美町婦人会)

委員 乙藤 頌子
(福津市地域婦人会)

北筑後地区《組織部会》
書記 横溝 敏子
(久留米市主丸町地域婦人会)

書記 白井 静子
(うきは市女性連絡協議会)

地区代表 池田 博子
(久留米市女性の会連絡協議会)

委員 篠田 紀代子
(朝倉市女性連絡協議会)

南筑後地区《福祉部会》
地区代表 廣石 福子
(三浦郡大木町婦人会)

委員 藤木 利美子
(柳川市地域婦人会連絡協議会)

委員 野間 幸江
(八女市地域婦人会)

委員 五十嵐 多喜子
(筑後市連合婦人会)

委員 川野 米美子
(大川市連合婦人会)

委員 北村 眞弓
(みやま市女性倶楽部)

春の交通安全県民運動 in 中央

日時 令和元年5月10日

場所 天神中央公園

当日、午後、私たち婦人会員50数名が青空の強い日ざしの下参加しました。

最初に小川洋典知事始め3人の挨拶がありました。
最後に保育園の子どもの交通安全宣言と、福岡大学の勇壮な太鼓の演奏で終わりました。

日赤 ホット・ホット非常食

日赤から寄贈された炊き出し用大鍋の披露をかねてホット・ホット非常食作りをしました。
子供達にかしわおにぎり体験、白玉ぜんざい、郷土料理のくずかけ、豚汁等をつくりました。
今年始めて四地区で実施されました。



那珂川市赤十字奉仕団



中間市赤十字奉仕団



大川市赤十字奉仕団



朝倉市赤十字奉仕団

今回の研修で避難するのにもタイミングや場所をよく選んですること、常日頃自分が住んでいるところで災害が起こったらどうなるのか、よく考えて行動することを学びました。この地域は自治会の中で要配慮者も把握して、日頃からみんなで共有していたこと、各家庭にある救助資機材の一覧表をもっていた等、改めて日頃からの地域の付き合いが大事だと思いました。
(廣石)

平成30年度赤十字奉仕団委員長会議・研修会

期日 平成31年3月1日
場所 日本赤十字社福岡県支部

午前中、平成30年度赤十字奉仕団活動状況や事業報告、平成31年度日赤福岡県支部の事業等の説明がありました。
午後からは研修会があり「災害エスノグラフィ」でした。耳なれない言葉ですが、読み物による過去の災害の追体験という事です。民族誌(過去の災害を追体験するための読み物)があります。今回は平成26年8月豪雨、広島市の事例「大雨・土砂災害編」を使っています。
それぞれに読み物を読み進み、自分で重要と思う所や初めて知った所にアンダーラインを引いていき、講師の方が区切って発表を求められるので、意見を出し合いながら読み進みました。その中で、土砂で押し倒されて流されて石と木と木がこすれあつた時、生ごみを焼いているような焦げ臭いにおいがすることや、サラサラというような音からザーツというようなこつこつ音、そしてドーツとドアを破って一気に土砂が流れこんだこと等初めて知りました。

日赤ボランティアデー



宇美町婦人会



添田町婦人会



庄内女性の会



柳川市地域婦人会連絡協議会

国際救援チャリティコンサート

期日 平成31年2月20日
場所 アクロス福岡シンフォニーホール

森山良子with九州交響楽団 国際救援チャリティコンサートが二月の夜開演にもかかわらず県婦連も奉仕団としてチケットを団員の皆さんに購入してもらい参加しました。

日本赤十字社福岡県支部創設130周年記念事業として「苦しんでいる人を救いたい」という目的でパングラデシユ南部避難民の仮設診療所の建設のために開催されました。

森山良子さんの「涙そうそう」九響の音色に心地よいひとときを過ごしました。



福岡県地域防災シンポジウム

期日 平成31年3月16日
場所 パビヨン ガスホール

福岡県西方沖地震を機に、この災害から得られた教訓を風化させることなく県民の防災意識を高めるため、また地域における自主的な防災活動を促す目的で、今年も開催されました。
小川知事のご挨拶、30年度の防災対策の推進に貢献された方々の「福岡県防災賞」表彰式がありました。
続いて防災システム研究所所長 山村武彦氏の最近の大規模災害に学ぶ「命を守る準備と行動」の講演やパネルディスカッションなど、どれも大切な内容でした。講演会では、災害はときとところ、

福岡県西方沖地震を機に、この災害から得られた教訓を風化させることなく県民の防災意識を高めるため、また地域における自主的な防災活動を促す目的で、今年も開催されました。
特に大切だと思ったのは、安全ゾーン設定
：ガラスや落下物の少ない閉じ込められない場所ということで玄関は安全ゾーンです。ドアを開けて避難路を確保できず、早めに安全ゾーンに移動すること。
みんなが閉じ込められた人を助ける訓練と共に閉じ込められない訓練も必要という内容でした。
(廣石)

「食品ロス」ってな〜に?

食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では年間約2,800万トンの食品廃棄物が発生していますがこのうち621万トンが食品ロスと推計されています。

『食品ロス』を減らすためにお願いします

- 必要なものはメモをとってから買い物に行きましょう。
- ばら売りや量り売りを利用して使い切れる分だけ購入しましょう。
- 短い期間で使い切れる食品はできるだけ期限が近いものから手に取るようにしましょう。

「賞味期限」と「消費期限」の違い

賞味期限って?

おいしく食べられる期限のこと。
この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。見た目や臭いなどで個別に判断しましょう。

消費期限って?

急速に劣化しやすい食品に付けられており、この期限を過ぎたら食べない方が安全です。

農商工復興祭で募金活動!

期日 平成30年11月24日

朝倉市では農商工復興が行われ日赤新聞を配り募金活動を行いました。仮設住宅を訪ね管理人の伊藤さんに陣中見舞いをお渡ししました。
(朝倉市女性連絡協議会)



田主丸町地域女性交流事業

田主丸町地域婦人会

田主丸町では、五つの教室「手話・コーラス・リフレクシユ・民謡・リフォーラム」を開講し、そのお話を婦人会がしています。

田主丸町地域婦人会は、五年前、四十年ほど前に作られ、忘れられていた。田主丸音頭を復興させ、民謡教室が中心となり、町で行われているいろんな行事の中で踊り、普及につとめています。

また、リフォーラム教室では、古い着物で作った洋服を、「ひとり暮らしのつどい」の中で、参加者の方にモデルになっていただき、ファッションショーをし、楽しんでいただいています。

少しでも地域の中で婦人会が必要とされるようにと頑張っています。



宇美町婦人会

昭和、平成と続いて来た婦人も、高齢化が進み若い世代の加入もままありません。今年中ですが今年も、四月六日、総会を行いました。

五月からは新しい年号「令和」になりますが、今まで通りで活動しようという事になりました。

これからどんな時代になるのかは誰もわかりません。希望を持って、何かを見つけたらと誰もが思っています。

宇美町も、2020年10月、町制施行100周年を迎えます。

気になってもらっています。見つめようこの100年、うみ出そう次の100年の登り旗を立て少しずつ動いていきます。私達婦人も、何か新しい事に向かって、もうちょっとだけ頑張ろうと話合いました。

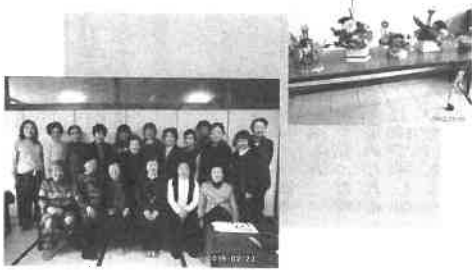
活動目標

- 一、交通安全への取組
- 一、青少年健全育成
- 一、防災対策
- 一、廃油を使つての石けん造り
- 一、研修会への参加

30年度の活動の中から

○小学校へ昔あそびのティーチャーとしての声がかかり、お手玉、おはじき、けん玉遊びなどを、子供達と一緒に楽しみながら教えました。

○会員によるお花教室
お花教室では、先生の指導の元、季節にあった花をもちつけ、会員同志の会話が進みます。又、行事がある時には、会場一杯の花を飾り、明るい雰囲気



婦人会活動について

桂川町婦人会

桂川町の婦人は「春の古墳特別公開」時におけるパゾーの実施から始まり、夏祭り桂川の盆踊り大会」の運営等で活動しています。

また婦人会独自の行事としての「レクリエーション」や研修会を計画しています。町行事がない二月、三月に集中的に実施することになります。

二月は「レクリエーション」として体育推進指導員による新しい卓球を実施し、手足の障害に関係なく出席者全員で大いに笑い動くことが出来ました。

研修旅行では「三月十日」に改修された門司港駅を見学に行きました。平日でしたので見学者は少なく、ゆつくり見ることが出来ました。

三月末、町に新しく出来た「ゆのうら体験の社」を見学するとともに管内の老人施設を知ろうと説明を受け、施設を見学しました。体験の社の桜が満開の中で「障害がある人」が焼いているピザを食べて皆笑顔になりました。



歩み続ける婦人会

添田町婦人会

添田町婦人会は歴史も古く創立1100余年にもなる婦人の地位向上と共に明るい町づくり推進の強力な団体として頑張りを歩み続けて居ます。

伝統の継承と共に時代に対応した考えのもと先達のため努力のお陰で、継続は力なり」の実践と地域社会の発展に寄与する事を目指しています。しかし会員の高齢化は避けて通れず一番の悩みです。

今年2月3日に婦人会1日研修会を開催し講師に相談したところ思いがけない発想の転換、目からうろこの助言に勇気と希望を頂きました。年を重ねる事は無駄ではない。高齢者になつて始めて分かる事、経験あつての対応等と話され先ず会合に出席出来る身体を持ち、人とおれ合い対話が生まれ、笑顔になり、脳の活性化と情報交換する喜び、元気が出る、地域にも貢献出来る明るい希望がわいて今後の活動が生まれると役員一同心新たにしたいと決めています。



婦人会活動について

筑後市婦人会

平成31年3月9日、県赤十字社より講師を迎えて健康生活講習会を筑後市のサンコアで会員を対象に行いました。「元気に活動を続けたい」これは皆の願いです。要支援・要介護になる原因の一つに「運動器の障害」がある。その予防のためには片足立ち、スクワットを一日わずかでもいいので続けることが大事とのこと。次に死亡の原因にもなっている不慮の事故。いわゆる防げる事故である。段差をなくす等、転ばないための

環境をつくることだ。そして急病等対応。直ちに119番通報すること。とても役立つ講習会となった。



第71回地域婦人九州大会事前打ち合せ会開催

4月19日(金)、博多サンヒルズホテルにて、各県会長6名と福岡県婦連より木下会長はじめ運営委員8名、県社会教育課2名、計18名で開催されました。

大会テーマ「いのちをまもり、くらしをまもり、ちいさなまもる婦人会」や分科会、全体討議の各役割り担当が協議されました。

翌日は、新元号「令和」で話題の太宰府市の大伴旅人の邸宅があつたといわれる坂本八幡宮に参拝。又、大宰府展示館では歴史資料ランテイヤさんに当時の「梅花の宴」について詳しく説明していただきました。各県の会長さんたちも11月の九州大会に沢山の会員さんたちを連れてきたいと大変喜んでおられました。



打ち合せ会



太宰府市 坂本八幡宮

編集後記

元号も平成から令和に変わりました。これからも地域の活動や、情報を掲載して参ります。ご協力宜しくお願い致します。

編集委員

- 池田穂波、古場弘子、白井静子、池田博子、安河内浩子、廣石福子、小田晴美、吉田香枝